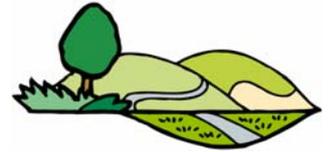




# 放牧で こんな地域を目指そう！ (こんな地域になれたらいいな。)



**若狹牛の放牧**

**放牧による農地保全**

- ・草刈りの省力化
- ・地域が変わるきっかけ

**地域の活性化  
「よろずの効果」**

- ・耕作放棄地等の解消
- ・美しい農村景観の形成
- ・獣害対策(被害の軽減)
- ・子どもの情操教育
- ・生き甲斐、癒し

**放牧による  
和牛繁殖経営**

**環境調和型農業**

**地域特産への活用**



## ◆遊休農地等の保安全管理を牛に手伝ってもらおう！

- ・遊休農地や山林の保安全管理をします。(牛が草を食べます)。
- ・草刈りの手間が省けます。

## ◆獣害対策に相乗効果を発揮！

- ・イノシシやシカ用の電気柵と「牛の放牧」で獣害をシャットアウト(締め出せ)！



放牧してから  
獣害が少なくな  
ったなあ！



**余力ができて、獣害の心配が無くなったら、農産物の生産・加工に取り組んでみよう！**

## ●産地づくり交付金などを活用！

- ・水田放牧は、産地づくり交付金などの対象となります。  
(地域の水田農業推進協議会で、要件・単価が異なります。)
- 県内のある市町の例(19年度)

(例) 営農組織が1町5反歩の水田に成牛2頭を放牧した場合  
50千円×15=750千円の収入  
牧草種子や肥料の費用(70千円)を差し引いても **大幅な収入UP!**

助成	区分	10aあたり	備考
産地づくり交付金 (水田放牧)	基本助成	15千円	
	団地	10千円	
	担い手加算	15千円	
耕畜連携水田活用対策補助金	水田放牧	10千円	牧草の播種が必要
条件が合えば最大で		<b>50千円</b>	

## ●子牛販売で新たな現金収入を確保！

- ・集落営農組織等の一部門に肉牛の繁殖経営を。(放牧、子取り経営)
- ・集落営農が経営の安定化を模索する中で、起死回生の一手となりえます。
- ・相場にもよりますが、子牛1頭が300~400千円で販売できます。

## ●堆肥を提供します！

- ・放牧の導入で、真の資源循環ができます。(環境調和型農業)

ちょっと可哀想だけど、  
新たな副業として、子牛の  
市場出荷を目指そう……!

## ウシに集落の「新たな住民」になってもらおう！

レンタル牛 → 集落所有の牛へ(集落や集落営農で牛を飼養)  
※他県では、中山間地域等直接支払交付金などを活用して、牛舎を建築したり、繁殖雌牛を導入したりしています。

